

## 男女共同参画社会の状況

～無意識の思い込み →知る →気づく →変わる（行動）～

令和6年4月

宮崎市男女共同参画センターパレット

お願い：手元にペンと紙か、スマホのメモ機能をご準備ください  
「気づき」を持ち帰りましょう！

# 本日の内容

1. **男女共同参画社会に関する意識**  
(性別役割分担意識、アンコンシャス・バイアス)
2. **ジェンダーギャップ指数 (男女の格差)**
3. **経済分野における男女共同参画**
4. **配偶者からの暴力 (DV)**
5. **性の多様性 (性のあり方は人それぞれ)**
6. **SDGs (5. ジェンダー平等を実現しよう)**

# 1. 男女共同参画社会に関する意識

# 言われたことありませんか？ どう思いますか？

言われたことはありませんか？



どう思いますか？



「女はこうあるべき・男はこうあるべき」と無意識のうちに思っていることがありますか。  
社会通念や慣習の中で社会によって作り上げられた「女らしさ」「男らしさ」があり、  
このような女性、男性の別を「社会的・文化的に形成された性別（ジェンダー）」といいます。

皆さんは、無意識のうちに「男だから、女だから」という理由で、  
我慢してきたことや、嫌な思いをしたことはありませんか？

大日本帝国憲法 明治22年2月11日公布 1890(明23)年11月29日施行  
※明治憲法 ※女性は無権利



日本国憲法 (昭和21年11月3日公布、1947(昭22)年5月3日施行)  
日本国憲法に個人の尊重と法の下での平等 男女平等の規定

約50年

世界

女子差別撤廃条約が国連総会で採択(1979(昭54)年 日本は1985年に批准

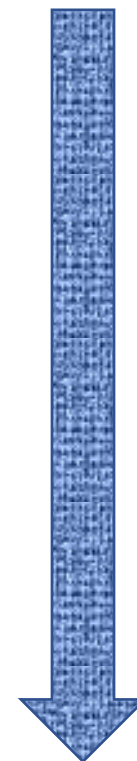
雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律((1985(昭61)年4月施行)  
男女共同参画社会基本法(1999(平11)年6月23日施行)

男女の人権の尊重、社会における制度又は慣行についての配慮政策等の立案及び  
決定への共同参画、家庭生活における活動と他の活動の両立

世界

持続可能な開発目標SDGsが国連サミットで採択(2015(平27)年9月

宮崎市男女共同参画社会づくり条例(2006年1月施行)  
第3次宮崎市男女共同参画基本計画(2024年4月～)



77年



# 第3次宮崎市男女共同参画基本計画 (皆さんと連携し様々な事業を展開して参りましょう)

基本理念：互いを認め合い 一人ひとりの彩<sup>(いろど)</sup>りで  
よりよい未来を紡<sup>(つむ)</sup>ぐまち

## 【4つの基本目標と9つ重点分野】

基本目標1 誰もが参画できる社会に向けた意識の醸成及び女性活躍の推進

重点分野1 男女共同参画の意識醸成

重点分野2 政策・方針決定過程への女性の参画拡大・女性活躍の推進

## 基本目標 2 人権が尊重され、心身ともに健康に暮らせる社会の実現

重点分野 3 生涯を通じた心身の健康支援

重点分野 4 貧困等生活上の困難な状況におかれている人々への支援の充実

重点分野 5 多様な性を尊重する社会づくりの推進

## 基本目標 3 性別にかかわらず、誰もが安心して活躍できる環境の整備

重点分野 6 男女の多様な働き方とワーク・ライフ・バランスの推進

重点分野 7 性別にかかわらず活躍できる環境の整備

## 基本目標 4 あらゆる暴力のない安心・安全な社会の形成

重点分野 8 あらゆるハラスメントの根絶

重点分野 9 配偶者や交際相手からの暴力の根絶



## クイズ1（男女共同参画社会の意識）

国では男女共同参画社会基本法、男女共同参画基本計画（現在第5次）などをもとに様々な施策に取り組まれています。一方、宮崎市では宮崎市男女共同参画社会づくり条例、男女共同参画基本計画（現在第3次）を軸に様々な事業に取り組んでいます。

さて、直近の我が宮崎市の社会全体における男女平等感の状況は次のどれでしょうか？

① 13.4%

② 68.8%

③ 3.9%





# 男女共同参画社会の意識(社会全体)



単位：%

国

宮崎県

宮崎市

○平等(最新)	14.7	15.2	13.4
平等(前回)	21.2	15.5	18.4
○女性が優遇	4.8	3.2	3.9
○男性が優遇	78.8	62.5	68.8

(出典) 内閣府「令和4年度、元年度男女共同参画社会に関する世論調査」

宮崎県「令和2年度、平成27年度男女共同参画社会づくりのための県民意識調査」

宮崎市「令和4年度、平成29年度宮崎市男女共同参画に関する市民意識調査」



# 宮崎市の男女共同参画社会の意識調査(分野別)



単位：%

【男性が優遇】

【平等】

【女性が優遇】

1家庭生活	54.7	27.1	5.6
2職場	55.2	24.4	5.8
3学校教育	20.4	48.4	3.1
4政治の場	77.4	8.0	0.8
5法律制度	42.7	29.8	6.7
6社会通念	72.8	10.8	1.9
7地域活動	40.2	29.2	5.4
8社会全体	68.8	13.4	3.9

(出典) 宮崎市「令和4年度男女共同参画に関する市民意識調査」



# バイアスを考えてみましょう

## 1 性別による固定的な役割分担意識(ジェンダー・バイアス)

社会には、「男は仕事、女は家庭」のような性別を理由にさまざまな役割分担が今も存在

## 2 さらに、無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)

性別や過去の経験に基づく無意識の思い込みや偏った考え

- ・ 校長先生は男性
- ・ 養護教諭は女性
- ・ 学校行事に荷物を運ぶのは男子、飾りつけをするのは女子
- ・ 家事や子育ては女性の仕事
- ・ 仕事をして家庭を支えるのは男性
- ・ 看護師は女性が多い
- ・ 保育士は女性が多い

## クイズ2（アンコンシャス・バイアス）



男女共同参画の取組の進展が未だ十分でない要因の一つとして、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が存在していることがあげられます。国では性別による無意識の思い込みの解消に向けた取組の一環として令和3・4年度に調査が実施されました。

調査で男性も女性も「そう思う、どちらかといえばそう思う」と回答した割合が1位だった項目は次のどれでしょうか。

- ① 男性は仕事をして家計を支えるべきだ
- ② 家事・育児は女性がするべきだ
- ③ デートや食事の金は男性が負担すべきだ

## そう思う・どちらかといえばそう思う 76.3%

令和4年度アンコンシャス・バイアスに関する調査(内閣府男女共同参画局より)

### 【男性・女性】

- 男性は仕事をして家計を支えるべきだ (1位、1位)
- デートや食事のお金は男性が負担すべきだ (4位、8位)
- 育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない (5位、4位)
- 女性は弱い存在なので守らなければならない (6位、6位)
- 女性は結婚によって、経済的に安定を得るほうが良い (9位、5位)
- 組織のリーダーは男性の方が向いている (一、9位)
- 家事・育児は女性がすべき (11位、11位)
- 家を継ぐのは男性であるべきだ (14位、一)

アンコンシャス・バイアスは、日常、職場に溢れていて誰でもあるものです。あること自体が問題というわけではありません。問題なのは、アンコンシャス・バイアスに気づかずに「決めつけ」たり、「押し付け」たりすることで、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、自分自身の可能性を狭めてしまいます。様々な影響があります。注意が必要、解消に向けた取り組みが必要です。

## 沈黙は同意・共犯の始まり

気づかない・見ないふりをしていますか？

### ■ 傷つけようという意思はないが、助けないという形で加担する

- ・ 事を荒立てない方がいい／あの状況ではしかたがない
- ・ たいしたことではない／あの人はいつもそうだから

### ■ 自分の行動を正当化し、バイアスのない適切な行動をしたと言い訳する

- ・ 自分がやらなくても誰かがするだろう
- ・ ほかに急いでやらないといけないことがあった／後で伝えようと思った

### ■ (自分の) 心理的ジレンマを避けるため、過小評価する

- ・ いつものことだよ／早く忘れた方がいい／そんなにくよくよしないで／そのくらい許してあげたらどう？

## 2. ジェンダー・ギャップ指数



# ジェンダー・ギャップ指数

経済、教育、健康、政治の4つの分野のデータを基にスイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が、各国における男女格差をはかるジェンダー・ギャップ指数を毎年発表しています。（2023年版）



日本は **146** か国中 **125** 位

（2022年版：146か国中116位、2021年版：156か国中120位）

教育と健康は世界トップクラスだが、**政治と経済**が低い





男性に対する女性の割合（女性の数値/男性の数値）を示しており、「0」が完全不平等、「1」が完全平等

1	アイスランド (14年連続1位)	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
4	ニュージーランド	0.856
5	スウェーデン	0.815
6	ドイツ	0.815
43	アメリカ	0.748
105	韓国	0.680
107	中国	0.678
125	日本	0.647

日本の分野別状況  
146か国中、125位

経済 123位  
政治 138位  
教育 47位  
医療 59位



## クイズ3（都道府県ジェンダー・ギャップ指数）



各国の男女格差をはかるジェンダー・ギャップ指数が毎年発表されています。残念ながら日本は低い状況です。NGO団体からは、このペースで世界全体で男女平等を達成するには131年かかると報告されています。

一方、国内の都道府県ジェンダー・ギャップ指数も毎年3月8日に発表されています。政治、行政、教育、経済の4分野に分けて分析してあります。

それでは、「政治分野」で宮崎県はどのくらいに位置しているのでしょうか？

① 40位

② 46位

③ 最下位

# 都道府県版ジェンダー・ギャップ指数

各都道府県の男女平等の度合いを政治、行政、教育、経済の4分野に分けて分析

## 【政治】…女性首長、議員

- 1位 東京
- 2位 神奈川
- 3位 千葉
- 46位 宮崎(昨年度:最下位)

## 【教育】…校長や教育委員等の男女比

- 1位 広島
- 2位 徳島
- 2位 東京
- 40位 宮崎(昨年度:37位)

## 【行政】…県管理職、審議会女性登用

- 1位 鳥取
- 2位 福井
- 3位 徳島
- 44位 宮崎(昨年度:42位)

## 【経済】…役員の男女比、家事育児の時間格差

- 1位 鳥取
- 2位 高知
- 3位 東京
- 11位 宮崎(昨年度:23位)



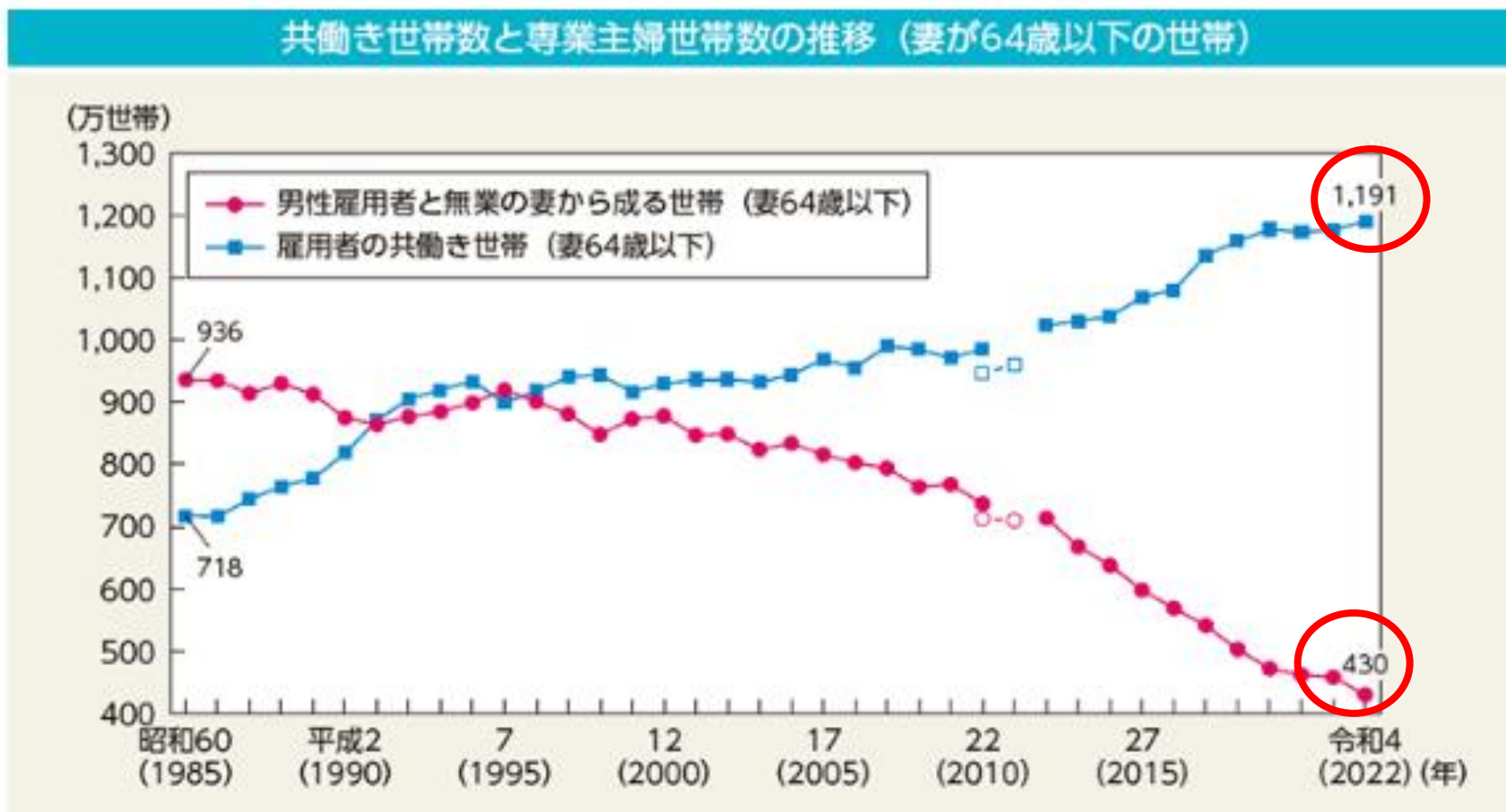
令和6年3月8日 上智大の三浦まり教授らでつくる「地域からジェンダー平等研究会」より

# 3. 経済分野における男女共同



# 共働き等世帯数の推移

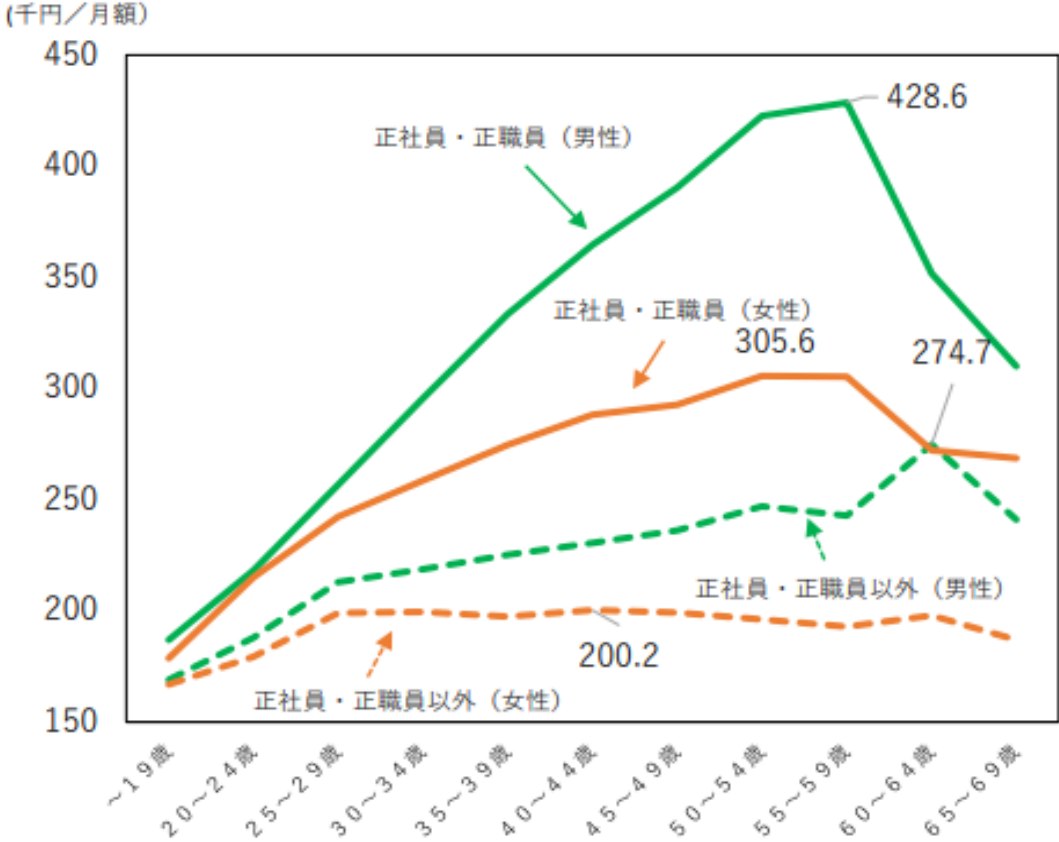
共働き世帯数は平成9年以降、男性雇用者と無業の妻（いわゆるサラリーマン夫と専業主婦の世帯）からなる世帯数を上回り令和4年では共働き世帯が1,191万世帯、男性雇用者と無業の妻からなる世帯が430万世帯。



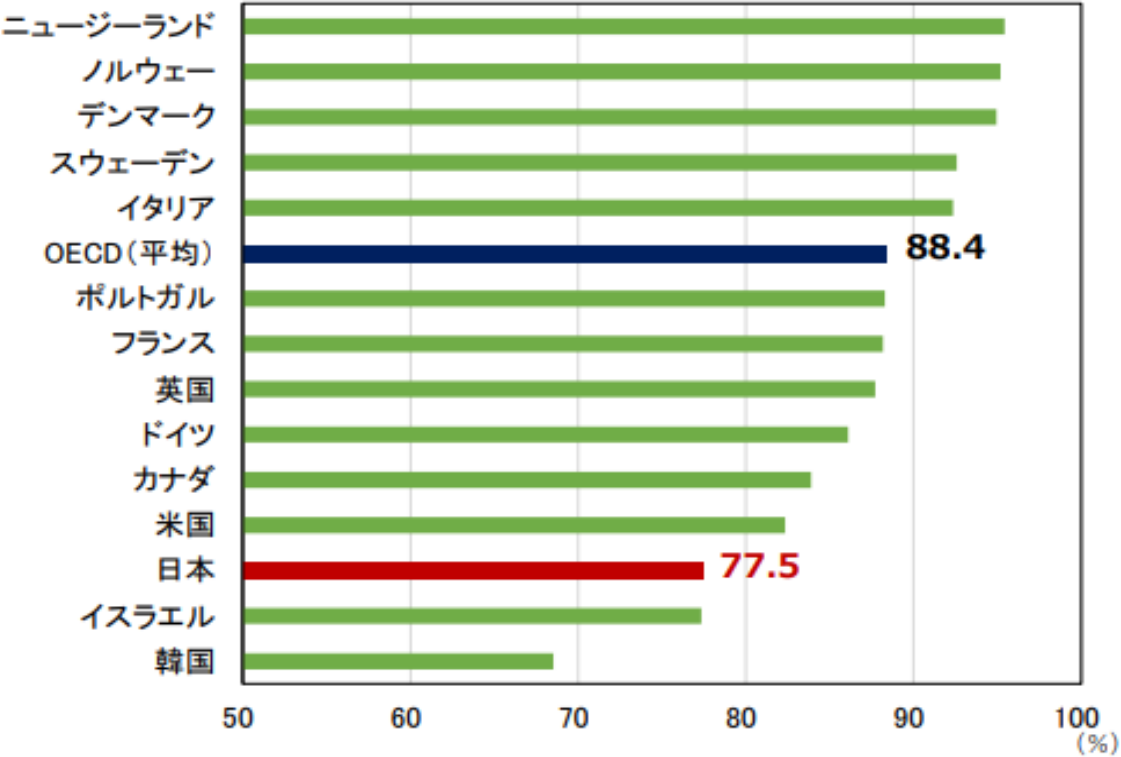


# 給与額の男女間格差

所定内給与額（雇用形態別・年齢階級別）



給与額の男女間格差（国際比較）



（厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」より作成）

- 1. OECD "OECD. Stat"より作成。
- 2. ここでの男女間賃金格差とは、フルタイム労働者について男性賃金の中央値を100とした場合の女性賃金の中央値の水準を割合表示した数値。
- 3. イスラエル、フランスは平成30（2018）年、イタリア、デンマーク、ドイツは令和元（2019）年、それ以外の国は令和2（2020）年の数字。



## クイズ4 男性の育児休業取得（育業・育児救業）

育児休業が取れることは知っているが、取らなくても何とかなると思いがちな男性が多いようです。

育児は決して妻だけの役割ではありませんね。ワンオペ育児、幼児虐待、産後うつなど様々な課題があります。

育児は、家族でシェアし協力することが大切です。当然、職場の理解は大きなポイントです。

宮崎県の男性の育児休業の取得率はどのくらいでしょう。

- ① 17. 13%      ② 79. 5%      ③ 36. 4%

# 企業も応援！！仕事と子育ての両立



## 1 えるぼし認定(宮崎県内7社 R6.2現在) 全国2639社

「女性の活躍状況が優良な企業」を女性活躍推進法に基づき厚生労働大臣が認定する制度です。

※女性労働者の割合、女性の勤続年数、管理職割合など

## 2 くるみん認定(宮崎県内56社 R6.2現在) 全国4441社

「子育てサポート企業」として、次世代育成支援対策推進法に基づき厚生労働大臣が認定する制度です。

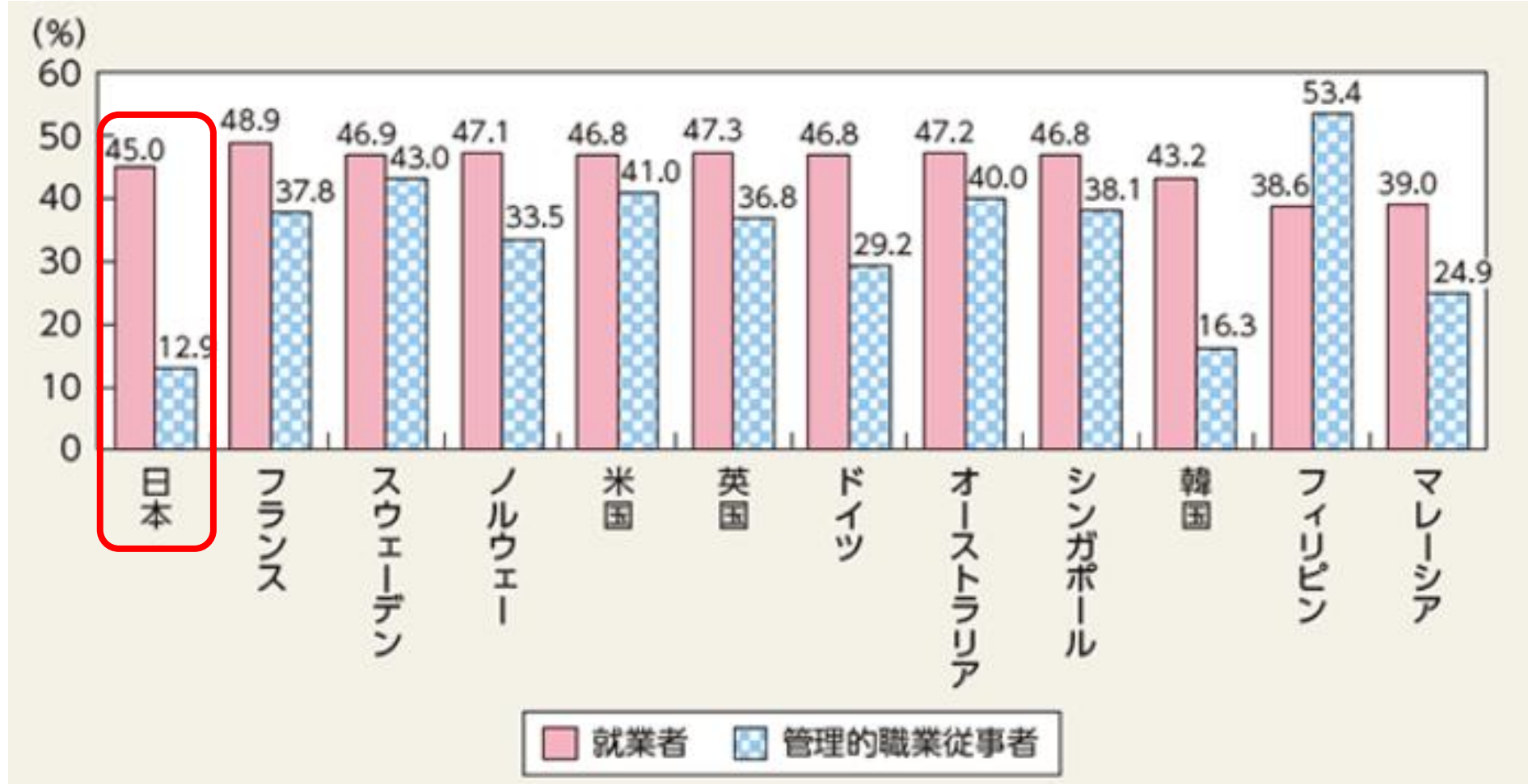
※男性の育児休業取得率、時間外の削減、年次有給休暇の取得率





# 就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合（国際比較）

日本の就業者に占める女性の割合は、諸外国と比較して大きな差はありません。  
しかし、企業の方針等決定に関わる重要な管理的従事者に占める女性の割合は低い水準



# 女性管理職も参画することは非常に重要



- ・政策・事業方針等の決定
- ・育休・介護休暇、生理休暇などの女性の職場環境の整備等
- ・多様な視点や価値観、創意工夫が社会を変える力になっていく

- ①女性の上司には抵抗がある、組織のリーダーは男性の方が向いている
- ②大きな商談や大事な交渉事は男性がやる方がいい
- ③仕事より育児を優先する男性は仕事へのやる気が低い  
責任ある仕事を担う女性は増えているが、まだまだ、補助的労働は女性が担うべきといった

職場におけるアンコンシャス・バイアスが残っている。このような思い込みを排除していかなければならない。

# 職場などで起こりやすい主なハラスメント



- ジェンダーハラスメント
- パワーハラスメント
- モラルハラスメント
- セクシュアルハラスメント
- マタニティハラスメント
- パタニティハラスメント
- アルコールハラスメント
- スモークハラスメント



# 4. 配偶者からの暴力（DV）



## クイズ5 配偶者からの暴力（DV）

配偶者等からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）は、犯罪となる行為を含む重大な人権侵害です。DVは多くの場合、女性が被害者であり、男女共同参画社会づくりの実現を大きく阻害しています。「身体的暴力」「精神的暴力」「経済的暴力」「性的暴力」のいずれかの1つでも受けたことがある女性は、宮崎市の調査では次のどれでしょう？

①約3人に1人（35.8%）

②約4人に1人（25.1%）

③約5人に1人（18.3%）

④約2人に1人（56.3%）

# デートDVかも



交際中の二人の間で起こる暴力「**デートDV**」といいます。

- ①身体的暴力→なぐる、蹴る、たたく、髪を引っ張るなど
- ②精神的暴力→無視する、友人関係や行動を制限するなど
- ③経済的暴力→借りたお金を返さないなど
- ④性的暴力 →無理やり性的行為をしようとする

好きな人と一緒にいることが、つらかったり怖かったりしていませんか？

それは「**デートDV**」かもしれません。

市調査(令和4年度) 交際相手から暴力を受けた経験がある。・約2割  
心理的・精神的暴力・約7割

# DVの相談の有無



## 配偶者から暴力等を受けた時の 相談の有無

- ①どこ(だれ)にも相談しなかった(半数)
- ②家族や親戚に相談した(2割)
- ③友人・知人に相談した
- ④男女共同参画センター等に相談した
- ⑤職場の関係者に相談した

## 交際相手から暴力等を受けた時の 相談の有無

- ①どこ(だれ)にも相談しなかった(半数)
- ②友人・知人に相談した(3割)
- ③家族や親戚に相談した
- ④警察に相談した
- ⑤職場の関係者に相談した
- ⑥男女共同参画センター等に相談した

## 相談しなかった理由

- ①相談するほどのことではないと思った(4割)
- ②相談しても無駄だと思った(3割)
- ③自分さえ我慢すれば、何とか(3割)
- ④自分にも悪いところがあると思った(2割)

## 相談しなかった理由

- ①相談するほどのことではないと思った(4割)
- ②相談しても無駄だと思った(3.5割)
- ③恥ずかしくて誰にもいえなかった(2割)
- ④自分さえ我慢すれば、何とか(2割)

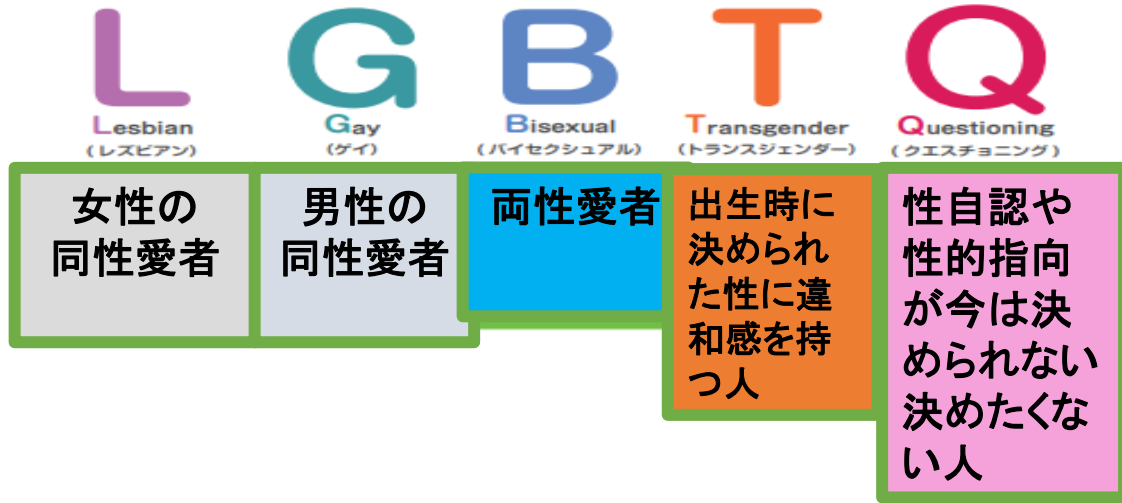
# 5. 性の多様性（性のあり方は人それぞれ）







# 性的少数者への正しい理解

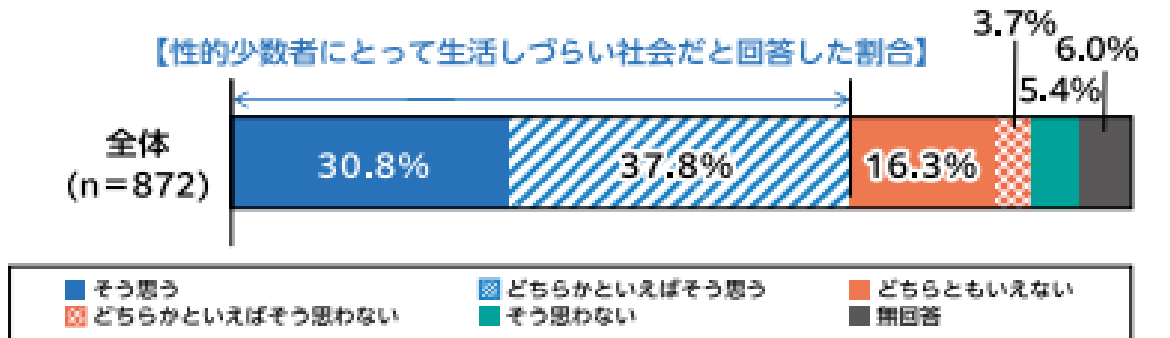


- カミングアウト: 自分が性的少数者であることを打ち明けること
- アウティング: 本人の許可なく性的少数者であることを他人に話してしまうこと重大な人権侵害です
- 性的少数者に対するハラスメント防止

○宮崎市の令和4年度調査で8.5% (約12人に1人) が報告: 令和2年電通調査8.9%

○宮崎市では、令和元年6月10日より「パートナーシップ宣誓制度」の開始。28組 R6.2月末

## ■性的少数者(LGBTQ等)にとって生活しづらい社会だと思うか



資料: 令和4年度宮崎市男女共同参画に関する市民意識調査

# 6. S D G s (ジェンダー平等を実現しよう)



# 世界の動き：SDGs（エスディージーズ）



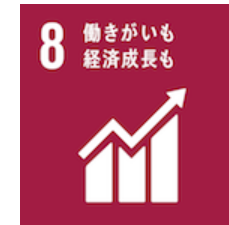
2015年9月 国連サミットで採択

国連加盟193か国が、2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた持続可能な17の目標をSDGs（エスディージーズ）とといいます。



「5. ジェンダー平等を実現しよう」

全ての人が性を理由に、差別されないジェンダー平等の社会にし、すべての女性と女の子のエンパワメントを図ります。



**いよいよいよいよ。待ったなし！！**

**まずは今を知る 気づく そして 変えていく**

- ① 今なお、根強く、大人社会の性別による生き方、固定的な役割等を決めてしまう意識や慣行が存在します
- ② 世界の中で遅れている日本、その中でも遅れている宮崎
- ③ 何となく遅れていることは知っているが、それが問題であると、認識されていないのではないのでしょうか？
  - ・ **まずは知ること・気づくこと**
  - ・ **そして変えていく（行動）ことが大事**
- ④ 過去は変えられないが、**未来は選択し創造することができます**
- ⑤ **事実上の平等を目指していきましょう**



**皆さんと連携し、  
男女共同参画社会の実現を  
目指しましょう！**



**ご清聴ありがとうございました！**